

# 令和4年度 租税教育に関する研究発表要項

名取市立ゆりが丘小学校

教諭 小林 敏之

## 1 研究主題

税を身近なものとして捉え、知識を深めるための指導の工夫  
～ICT機器の効果的な活用を通して～

## 2 主題設定の理由

学習指導要領の改定に伴い、2020年度から小学校の社会科では公民から学習を始めることになった。よって、税金に関することは令和3年4月に既習済みである。税金は大人が納めるものと捉えがちだが、小学生も消費税という形で納めていることを知ると、児童は驚いた様子であった。自らも納めていることから、税に興味・関心をもたせ身近なものとして捉え、将来納税者になったときに正しい知識を持って義務を果たすようにさせたいと考える。

本校では、平成28年から2年間ICT活用モデル校に指定されたため、その経験を活かしICT機器を活用して学習内容をより深いものへとつなげられないかと考えた。国語や社会、理科、総合的な学習の時間などの調べ学習でタブレットを活用してきた。そのため、6年生は、膨大な数の情報の中から、自分に必要なものを取捨選択する技術が身に付いている児童が多い。そこで、ICT機器の活用を通して、疑問に思ったことや分からないことを調べながら知識を増やし、お互いに調べたことを伝え合う中で、税に関する知識をさらに深めさせたいと思い、本主題を設定した。

## 3 研究目標

税金に関する授業や租税教室、発表会を通して、税に関する知識を深めるための指導法を探る。

## 4 研究の方法

- (1) 「わたしたちの生活と政治 ～くらしの中の基本的人権の尊重～（三大義務）」と「子育て支援の願いを実現する政治 ～税金の働き～」(東京書籍)の学習を通して、税金の基礎を知る。
- (2) 税金に関する意識調査を行い、児童の実態や知識を確認する。
- (3) 租税教室を開催し、税金の意義や役割を再確認させる。
- (4) 税金について学習したことから疑問に思ったことや分からなかったことを、調べ学習を通して追究させる。

## 5 研究計画

令和3年 4月	・税金について
1 1月	・事前調査
1 2月	・租税教室
令和4年 1月	・課題追究学習・まとめ
2月	・発表会 ・事後調査

## 6 指導計画

次	段 階	主な学習活動	時間
1	税金について知ろう (社会)	①教科書(東京書籍)から税について学ぶ。 1. わたしたちのくらしと日本国憲法 ～くらしの中の基本的人権の尊重～ 2. 国の政治のしくみと選挙 ～選挙のしくみと税金の働き～ 3. 子育て支援の願いを実現する政治 ～税金の働き～	3
		②事前調査 ・調査紙を用い、児童の税に関する知識を確認する。	
		③租税教室	1
2	課題について調べよう (総合)	①税の学習を通して、疑問に思ったことを調べる。 調べたことをスライドにまとめる。	5
	調べたことを伝えよう (総合)	②発表会を行い、調べた内容を伝え合う。 新たに知ったことをメモする。	1
	事後調査	③児童の税に関する知識の深まりをみる。	

## 7 研究の概要

### 【第1次】

#### ①社会科の学習を通して(令和3年4月15日, 4月28日, 5月27日)

1学期の始めに, 社会科の学習を通して税について学んだ。6年生の教科書「新しい社会政治・国際編」で税について始めに触れるのは, 国民の義務として「税金を納める義務」についてである。

次に税金の集められ方と税金の使われ方である。教科書の資料としては, 「ものを買ったとき」, 「市区町村に住んでいる人」, 「会社に勤めている人」, 「自分で商売をしている人」, 「土地や建物をもっている人」という例が挙げられている。具体的に税の名前を知って

いる児童から「消費税」や「所得税」という発言があったため、「住民税」と「固定資産税」という名前も出したところ、メモを取っている児童もいた。

最後に、たくさんの人が必要としている公共的な事業に税金が充てられることを学ぶ。

以上のことから社会科の3時間の学習を通して、児童は税に対する基礎的な知識は身に付けている。

## ②税に対する事前調査（6年1組 男19名 女11名 計30名）

1学期に社会科の学習で学んだことがどれだけ定着しているのか、あるいはどれだけ知識をもっているのか知るために、以下の事前調査を行った。

令和3年11月11日実施

※全項目自由記述、複数回答可

### 1 税金は、どのように集められていますか。

- ・消費税 16名
- ・ものを買った時 7名
- ・給料から 4名
- ・募金 3名
- ・たばこ税 2名
- ・車をもっている人から 2名
- ・国民から 2名
- ・ガソリン税
- ・所得税
- ・住民税
- ・もっている土地から
- ・会社経営者から
- ・選挙
- ・国からもらう

### 2 税金は、どんなことに使われていますか。

- ・教科書 19名
- ・道路整備 8名
- ・学校を建てる 7名
- ・施設を建てる 6名
- ・学校の用具 6名
- 公園 3名
- ・災害の復興 2名
- ・警察 2名
- ・病院 2名
- ・公務員の給料 2名
- ・ワクチン対策 2名
- ・国を支えるため 2名
- ・コロナ保障
- ・年金
- ・消防
- ・病院の薬代
- ・ゴミ収集
- ・公衆トイレ
- ・募金
- ・義務教育費
- ・救急車
- ・誰でも受けられるサービス

### 3 税金は、なぜ必要なのでしょう。

- ・国民のため 6名
- ・学校や施設を建てるため 4名
- ・教科書を無償にするため 3名
- ・道路を整備するため 2名
- ・人がより快適な生活をするため 2名
- ・警察官を雇うため 2名
- ・町をよくするため 2名
- ・無回答 2名
- ・祖父、祖母の生活のため
- ・救急車が有料になってしまうから
- ・公共施設の整備のため
- ・公共サービスのため
- ・国の借金返済のため
- ・医療費が高くなってしまったから
- ・災害の復興のため
- ・便利な物を作るため
- ・未来の国のため
- ・世界のため

上記の結果から、ほとんどの児童が税の集め方や使われ方について、学習したことを覚えていることが分かった。他にもテレビや本で得た知識を持っている児童もいた。税の集め方については、消費税と回答した児童が多く、児童の身近な存在である税であるということが分かる。税の使われ方についても、教科書と回答した児童が半数以上であり、自分たちのために使われていると捉えている児童が多いことが分かる。しかし、税の基礎を学んだだけであり、なんとなく捉えているのみで幅広い知識を持っていなかったり、集め方や使い方で「募金」と答えるなど間違った知識を持っていたりする。そこで、租税教室を行い、税について正しい知識

の構築を図り、調べ学習と伝え合う活動を通して、より深い学びにつなげる。

### ③租税教室（令和3年12月13日）

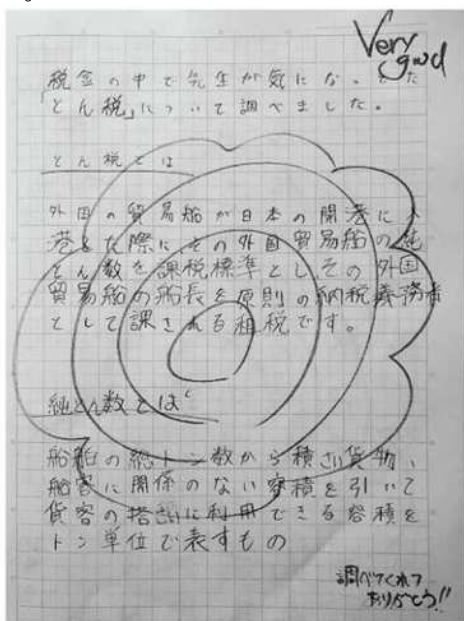
講師：税理士 高橋賢治さん（ハルナカ税務会計事務所）

税理士 渡辺敏幸さん（税理士法人 Sincere）

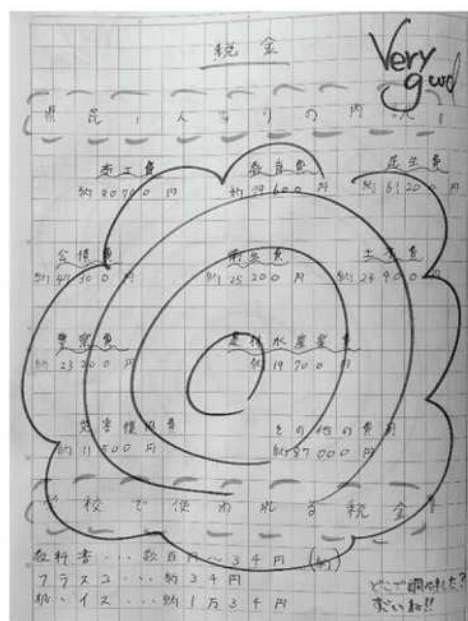
税理士の方2名においでいただき、スライドを使いながら税金の集め方やなぜ必要なのかなどの基礎的な知識から、具体的な税金の種類や累進課税制度のしくみなど発展的な内容を教えていただいた。児童は、教えていただいたことを一生懸命メモし、さらに知りたいことや疑問に思ったことなどがあったので、それらを追究させ、深い学びへと結び付けることができた。また、租税教室後、自主学习や冬休み中に税について調べてくる児童が数名いて、興味・関心を持たせることができた。



【写真1】租税教室の様子



【写真2】とん税を調べた自主学习



【写真3】県民一人あたりの内訳を調べた自主学习

その他：外国の消費税、税の種類、外国のおもしろい税、税の使い道など

#### 《租税教室後の児童感想》

- ・今まで税というと消費税しか思い浮かばなかったけれど、それ以外にも50種類ほどの税があることを知ることができた。税金の使い道にあった「災害対策」では、具体的にどんなことを行っているのだろう。
- ・税金は、お金を払わなくては行けなし、「いらないんじゃないかな」と思っていたけれど、今日税金のことを学んで「みんなが負担してみんなが使う、みんなが幸せ」という言葉を聞いて

て、自分一人だけ払っているわけではないし、みんなのため、自分のためにもなるので大切なことだと思った。他の国の税金には、どのようなものがあるのだろう。

【第2次】

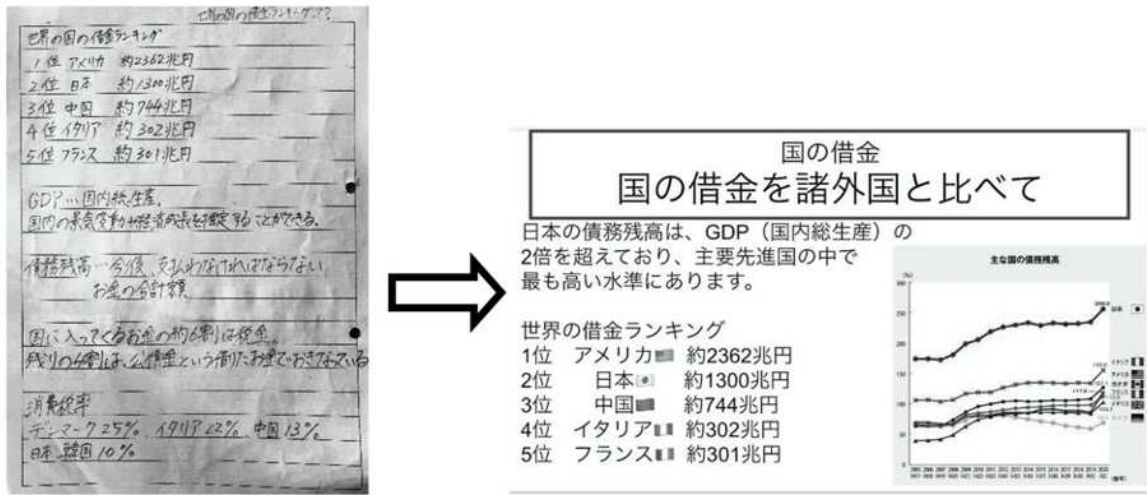
①課題について調べよう（1/18）

・租税教室の感想より、児童から出た疑問を教師が集約し児童に提示した。そこから、自分が調べたい課題についてアンケートを採り、グルーピングをした。グループ内で、さらにテーマを分けて、個別に調べ学習を進めた。タブレットで調べ活動を進め、分からない言葉があるとさらにその言葉を調べていて追究していく様子が見られた。また、カタログから学校備品の値段を調べ学校に使われている税の金額をまとめたり、税理士にFAXで質問を送り問題解決につなげたりしているグループもあった。

児童から出た疑問	さらに興味を持って調べたサブテーマ
1 税の種類	①事業税とは何か。 ②とん税・たばこ税とは何か。 ③ゴルフ場利用税とは何か。 ④都市計画税・印紙税・共同施設税とは何か。
2 学校で使われている税金の内訳	①小学校で使われている税について。 ②中学校で使われている税について ③高校で使われている税について
3 災害対策に使われている税金	①地震対策に使われている税 ②津波対策に使われている税 ③台風対策に使われている税 ④火山対策に使われている税
4 税の集め方	①直接税とは何か。 ②直接税の種類 ③間接税とは何か。 ④間接税の種類
5 教室にある物の値段	学校の物にどのくらいの税金が使われているのか。 ①体育館にある物の値段 ②理科室にある物の値段 ③図工室にある物の値段 ④音楽室にある物の値段
6 国の借金	①なぜ借金があるのか。 ②国の借金はいくらか。 ③諸外国と比べると。
7 外国の税金	①外国はなぜ消費税は高いのか。 ②中国の税金 ③ブラジルの税金 ④アメリカにある税金
8 税理士の仕事	①税理士とは何か。

- ②税理士はどんな仕事をしているのか。
- ③税理士になるにはどんな試験を受けるのか。

・課題について追究した後は、調べたことを整理しスライドにまとめる作業を行った。たくさんある情報の中から、重要な内容をスライドにまとめ、その他のことは言葉で付け足すよう指導した。自宅でさらに調べてきて、まとめる児童もいたことから意欲的に課題追究に取り組んでいたと考える。また、まとめる作業が苦手な児童も、周りの子に支えながら取り組むことができた。スライドでまとめる様子を見てみると、ICTを活用することは児童に意欲を持たせ、集中して取り組ませる効果があると思われる。しかし、模造紙や新聞に書いてまとめる技能も必要と考えるので、他の学習で取り組ませた。



【写真4】調べて整理したメモをもとにしたスライド

②調べたことを伝えよう

・スライドにまとめたことを一人一人発表した。スライド作成は修学旅行のまとめで行っているため、今回で2回目である。そのため、ほとんどの児童が1時間で作成を終え、発表練習に臨んだ。練習中にスライドを修正したり、新たに必要な情報を付け足したりと、教師側が指示しなくても自分で考え集中して取り組んでいた。また、上位群は原稿を用意せず、伝えたいことを資料に合わせながら話す練習をし、表現力の向上にもつなげることができた。クイズを取り入れて聞き手に興味を持ってもらう工夫をする児童もいた。前回の経験を活かし、調べたたくさんの情報を短くまとめさせ、書き切れないことは言葉で説明をさせた。聞いている児童はメモを取り、他の児童が調べたことから新たな知識を得られるようにした。



**3入湯税 日本**

日本にも「入湯税」という個性的な税金があります。温泉を利用する際に課せられる税金で、基本料額は190円。温泉施設の利用料金や温泉街の観光施設に上乗せされています。

**正解は.....**

**学位税**

オーストラリアでは、大学を卒業する者に課せられる「学位」に税金が課せられます。

オーストラリアの大学はほとんどが国立で、その授業料は国が負担しています。したがって学生は学費という形で学費を負担し、大学の運営のための経費に充てられています。

オーストラリアでは大学はエリートとされ、収入が高い仕事に就きやすい傾向があります。そこに税の加算システムの工夫があります。

大学を卒業後、一定以上の収入があれば1%の割合で学位税を課せられます。一方、所得に達しない収入の場合は無税となり、軽減効果があるため卒業後に教育を受けられる機会がえられます。

**ここで Quiz**

オーストラリアには学校が関係している税金があります。それは次のうちどれでしょう。

1給食税    2学位税    3教学士

【写真5】外国の税金をクイズで紹介の様子

③事後調査（6年1組 男19名 女11名 計30名）

令和4年2月21日実施

※全項目自由記述、複数回答可

1 税金は、どのように集められていますか。

- ・消費税 25名    ・ゴルフ場利用税 7名    ・入湯税 7名    ・たばこ税 7名
- ・自動車税（車を持っている人が払う） 5名    ・固定資産税 4名    ・所得税 4名
- ・とん税 4名    ・直接集めたり、間接的に集めたりする 4名    ・法人税 3名
- ・国民→税務署 2名    ・その人に見合った分を国が徴収する 1名    ・印紙 1名
- ・都市計画税 1名    ・共同施設税 1名    ・酒税 1名    ・外国にもある 1名

2 税金は、どんなことに使われていますか。

- ・学校維持 18名（校舎・ピアノ・図工道具・実験器具・体育備品・机・椅子・肋木）
- ・道路整備 14名    ・災害時対応 9名    ・公共施設を建てる 9名
- ・公共の物（街灯・信号機・公園・横断歩道・トイレなど）9名    ・教科書 7名
- ・コロナワクチン 3名    ・消防・救急 3名    ・医療費 2名    ・介護費 2名
- ・公務員の給料 2名    ・国債の返済 1名    ・老後の生活 1名    ・鉄道整備 1名
- ・工事 1名    ・国民に必要な物に 1名    ・国民の安全や役立つこと 1名

3 税金は、なぜ必要なのでしょう。

- ・教育費・教科書無償配布のため 8名    ・道路整備をするため 7名
- ・世の中がより豊かで平和であるため 5名    ・公共施設を建てるため 4名
- ・国民の生活に支障が出ないようにするため 3名    ・教育や福祉を充実させるため 3名
- ・救急車・警察・消防が有料になる 3名    ・災害時対応 2名
- ・みんなが安全に生活するため 2名    ・コロナ対策 1名    ・医療費が高くなる 1名
- ・公務員を雇うため 1名

《 事前調査との比較 》

【設問1について】

税金の集め方を具体的に書く児童が多かった。税金を募金で集めると回答していた児童も、

消費税など国民から徴収されているという回答が変わった。車を持っている人や持っている土地から税金をもらうとの回答も、具体的に自動車税や固定資産税などの名称で答える児童が多くなった。

### 【設問2について】

事前調査でも税金の使われ方について学習した知識について書かれていたが、事後調査ではより具体的でたくさん回答できるようになっていた。特に学校のために使われているという意見が多かったが、事後調査では学校で使われている物が具体的に回答してあった。また、災害対策に使われていると回答した児童が増え、震災復興に税金が充てられているという意識を持たせることができた。

### 【設問3について】

事前調査でも回答できていたが、事後調査では書いている内容が増えた。箇条書きで書くよう指導していたので、項目が増えていることが分かった。

### 《児童感想》

税金のいろんなことを知るまでは、『何で買った物にもとお金がかか がるの??』と思っていて、イヤだ、たけど、調べていくと、この税金というの は、自分たちが快適に暮らせるためのものだ、たことに気付きました。 又、教室にあるものなどは『別に自分のものでもないし、大丈夫でしょ』 ぐらいの勢いで使っていたけれど、ものすごく高いお金をかけて、私達 のためにいろいろなものを買ってくれていると思うと、今までのこと がとて、はずかしいくらいに思えてきます。
フランスの人の発表を聞いていると、外国の税金など、ものすごく高 くても、その分、福祉などがとて、充実していて、税金はイヤでも 必ず払わなくてはいけないものだ、と改めて思いました。
世界の税金はいろいろ調べていくと、日本とは全然ちがう、 その国がから、そでけるような税金がでてきておもしろいです。 税金発表の内容は、難しいものだけれど、それを、短く、 分かりやすくまとめるという点でも勉強になったのが 良かったです。



## 《事前調査と事後調査の比較》

1 税金は、どのように集められていますか。

・税金が買、た食料や服などから集められている。

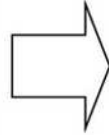
2 税金は、どんなことに使われていますか。

・道路工事  
・教科書

3 税金は、なぜ必要なのでしょう。

・税金がないと国のものをあつくりすることができないから。

【事前調査】



1 税金は、どのように集められていますか。

・税金などではなく、税金  
・道路工事(道路税)  
・税金(印刷)の税金  
など集められている。

2 税金は、どんなことに使われていますか。

・税金の税金(税金)  
・道路整備(道路整備)  
・税金  
・税金の税金  
(津波、震災、土砂災害) など使われています。

3 税金は、なぜ必要なのでしょう。

・税金の税金(税金)のため  
・税金の税金(税金)が税金(税金)のため  
・道路整備(道路整備)のため  
など、国民の生活に支障がでる  
ようにするため、税金が必要。

【事後調査】

## 8 研究の成果と課題

- 授業で基礎知識を身に付け、租税教室でさらに知識を増やし、最後に疑問に思ったことを追究させることで、知識をより深めることができた。
  - スライドにまとめてお互いの発表を聞くことで、自分のテーマ以外の知識についても深めることができた。タブレットで調べたり、税理士にFAXで質問に回答してもらったりしたことで、かなり専門的な知識を得た児童もいた。
  - 自主学習で調べてくる児童が見られるなど、税に関して興味を持たせることができた。
  - 宮城県民として、震災復興にも税金が充てられていると知ったことで、より税金を身近に感じさせることができた。
- △総合で6時間、租税教室(社会)で1時間確保したが、時数確保が難しかった。成果が多かったので、時数の確保をしっかりと見通せれば、有意義な学習になると感じた。

# 令和4年度 租税教育に関する研究発表

名取市立ゆりが丘小学校  
教諭 小林 敏之



## 1 研究主題

税を身近なものとして捉え、知識を深めるための指導の工夫  
～ICT機器の効果的な活用を通して～



## 2 主題設定の理由

- ・ 公民から学習開始
- ・ 将来納税者になったときに正しい知識を持つ
- ・ ICTの活用で税の知識を深める

## 3 研究目標

税金に関する授業や租税教室、発表会を通して、  
税に関する知識を深めるための指導法を探る

## 4 研究の方法

- (1) 税金の基礎知識を知る
- (2) 税金に関する意識調査
- (3) 租税教室の開催
- (4) 税金に関する追究学習



## 5 研究計画

令和3年 4月	・税金について
11月	・事前調査
12月	・租税教室
令和4年 1月	・課題追究学習・まとめ
2月	・発表会 ・事後調査

## 6 指導計画

次	段階	主な学習活動	時間
1	税金について知ろう (社会)	①教科書(東京書籍)から税について学ぶ。 1. わたしたちのくらしと日本国憲法 ～くらしの中の基本的人権の尊重～ 2. 国の政治のしくみと選挙 ～選挙のしくみと税金の働き～ 3. 子育て支援の願いを実現する政治 ～税金の働き～ ②事前調査 ・調査紙を用い、児童の税に関する知識を確認する。 ③租税教室	3  1
2	課題について調べよう (総合)	①税の学習を通して、疑問に思ったことを調べる。 調べたことをスライドにまとめる。	5
	調べたことを伝えよう (総合)	②発表会を行い、調べた内容を伝え合う。 新たに知ったことをメモする。	1
	事後調査	③児童の税に関する知識の深まりをみる。	

## 7 研究の概要

### 【第一次 税金について知ろう】

①教科書から税について学ぶ。

1. わたしたちのくらしと日本国憲法  
～くらしの中の基本的人権の尊重～
2. 国の政治のしくみと選挙  
～選挙のしくみと税金の働き～
3. 子育て支援の願いを実現する政治  
～税金の働き～

### 1. わたしたちのくらしと日本国憲法 ～くらしの中の基本的人権の尊重～



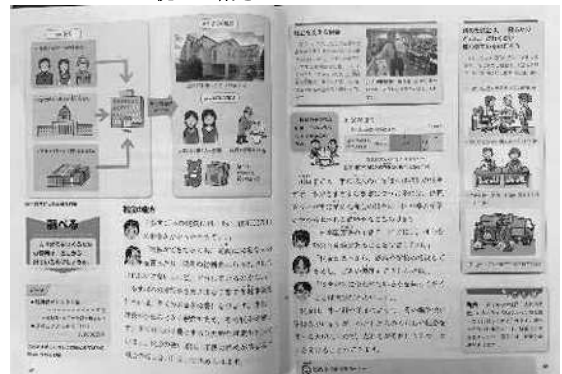
新しい社会 6 政治・国際編  
東京書籍

### 2. 国の政治のしくみと選挙 ～選挙のしくみと税金の働き～



まかなわれています。税金には、ものを買ったときにかかる消費税などがあります。国の税金の集められ方がその使われ方(予算)は、国々の代表者である国会議員によって決められます。

### 3. 子育て支援の願いを実現する政治 ～税金の働き～



## ②税に対する事前調査

対象：6年1組 男19名 女11名 計30名

日時：令和3年11月11日実施

全項目自由記述，複数回答可

### 1 税金は、どのように集められていますか。

・消費税	16名
・ものを買った時	7名
・給料から	4名
・募金	3名
・たばこ税	2名
・車をもっている人から	2名
・国民から	2名

( その他 )

・ガソリン税	・所得税	・住民税	・もっている土地から
・会社経営者から	・選挙	・国からもらう	

### 2 税金は、どんなことに使われていますか。

・教科書	19名
・道路整備	8名
・学校を建てる	7名
・施設を建てる	6名
・学校の用具	6名
・公園	3名
・災害の復興	2名
・警察	2名
・病院	2名
・公務員の給料	2名
・ワクチン対策	2名
・国を支えるため	2名

( その他 )

・年金
・消防
・病院の薬代
・ゴミ収集
・公衆トイレ
・募金
・義務教育費
・救急車
・誰でも受けられるサービス
・コロナ保障

### 3 税金は、なぜ必要なのでしょう。

・国民のため	6名
・学校や施設を建てるため	4名
・教科書を無償にするため	3名
・道路を整備するため	2名
・人がより快適な生活をするため	2名
・警察官を雇うため	2名
・町をよくするため	2名
・無回答	2名

( その他 )

・祖父、祖母の生活のため	・救急車が有料になってしまうから
・公共施設の整備のため	・公共サービスのため
・国の借金返済のため	・医療費が高くなってしまったから
・災害の復興のため	・便利な物を作るため
・未来の国のため	・世界のため

## ③租税教室（12月13日）

【講師】

税理士 高橋賢治さん（ハルナカ税務会計事務所）

税理士 渡辺敏幸さん（税理士法人Sincere）



### 【税金クイズ】

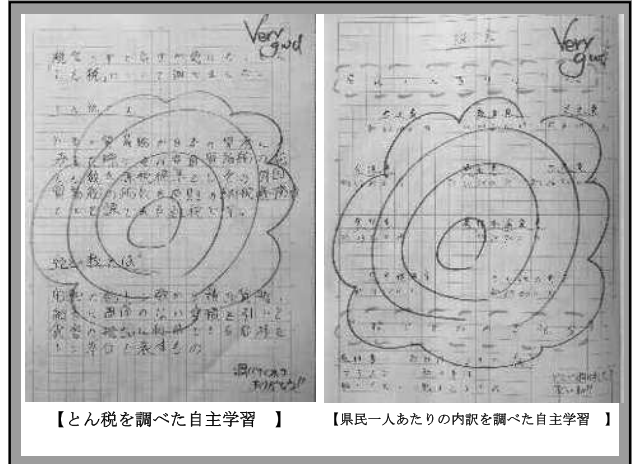


## 【 児童の感想 】

今まで税という消費税しか思い浮かばなかったけれど、それ以外にも50種類ほどの税があることを知ることができた。税金の使い道にあった「災害対策」では、具体的にどんなことを行っているのだろう。



税金は、お金を払わなくては行けないし、「いらぬんじゃないかな」と思っていたけれど、今日税金のことを学んで「みんなが負担してみんなが使う、みんなが幸せ」という言葉を聞いて、自分一人だけ払っているわけではないし、みんなのため、自分のためにもなるので大切なことだと思った。他の国の税金には、どのようなものがあるのだろう。

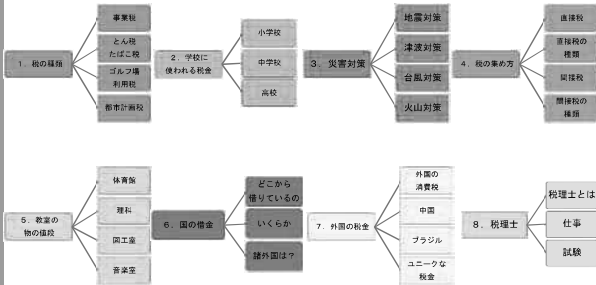


【とん税を調べた自主学习】

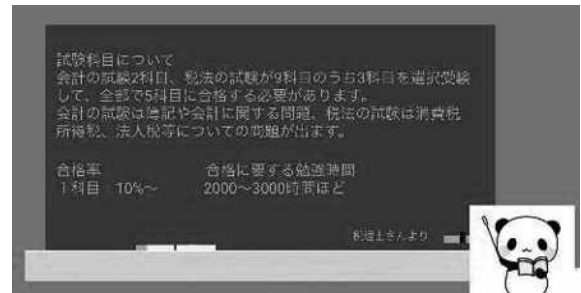
【県民一人あたりの内訳を調べた自主学习】

## 【第二次】

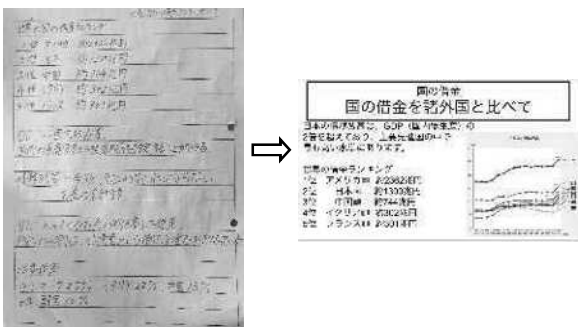
### ①課題について調べよう（1/18～）



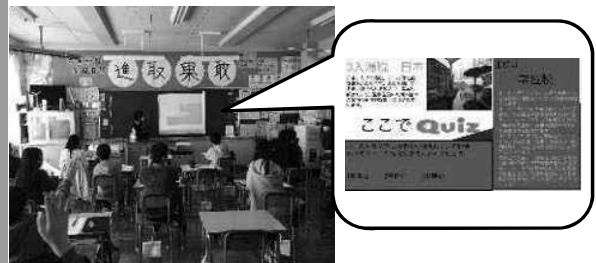
### 税理士さんからFAXで回答をいただいた児童のスライド



### 調べて整理したメモをもとにしたスライド



### ②調べたことを伝えよう



外国の税金をクイズで紹介する様子

### ③税に対する事後調査

対象：6年1組 男19名 女11名 計30名

日時：令和4年2月21日実施

全項目自由記述，複数回答可

1 税金は、どのように集められていますか。

#### 事前

1 税金は、どのように集められていますか。

- ・消費税 11名
- ・ものを買った時 7名
- ・給料から 4名
- ・専業 3名
- ・たばこ税 2名
- ・車を持っている人から 2名
- ・国費から 2名

【その他】  
・コンビニ 1名  
・お祝い金 1名  
・お祝い金 1名  
・お祝い金 1名  
・お祝い金 1名

#### 事後

1 税金は、どのように集められていますか。

- ・消費税 25名
- ・ゴルフ燃料増税 7名
- ・人差増 7名
- ・たばこ税 7名
- ・自動車税 5名
- ・固定資産税 4名
- ・所得税 4名
- ・たばこ税 4名
- ・土地増 4名
- ・国費・間接的に 4名

【その他】  
・たばこ税 1名  
・たばこ税 1名  
・たばこ税 1名  
・たばこ税 1名  
・たばこ税 1名

2 税金は、どんなことに使われていますか。

#### 事前

2 税金は、どんなことに使われていますか。

- ・教育費 19名
- ・近所警備 14名
- ・学校お昼でる 7名
- ・雑費お昼でる 6名
- ・学校の用具 4名
- ・公園 3名
- ・買物の後片 2名
- ・福祉 2名
- ・病院 2名
- ・公務員の給料 2名
- ・ワクチン対策 2名
- ・国を支えるため 2名

【その他】  
・お祝い金 1名  
・お祝い金 1名  
・お祝い金 1名  
・お祝い金 1名  
・お祝い金 1名

#### 事後

2 税金は、どんなことに使われていますか。

- ・学校給食 18名
- ・近所警備 14名
- ・取組お昼でる 9名
- ・お昼お昼でる 9名
- ・公共の物 9名
- ・教育費 7名
- ・コロナワクチン 5名
- ・開防、徳巻 3名

【その他】  
・お祝い金 1名  
・お祝い金 1名  
・お祝い金 1名  
・お祝い金 1名  
・お祝い金 1名

3 税金は、なぜ必要なのでしょう。

事前		事後	
<p>③ 税金は、なぜ必要なのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国費のため 6名</li> <li>・学校や施設を建てるため 4名</li> <li>・教科書を無償にするため 3名</li> <li>・道路を整備するため 2名</li> <li>・人がより快適な生活をするため 2名</li> <li>・警察官を雇うため 2名</li> <li>・用をよくするため 2名</li> <li>・雑用費 2名</li> </ul>		<p>③ 税金は、なぜ必要なのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育費、 equal 準備金等 8名</li> <li>・道路整備のため 7名</li> <li>・国費のため 5名</li> <li>・国費の中より何かで取組であるため 5名</li> <li>・公共施設を建てるため 4名</li> <li>・国民の生活に支障が出ないようにするため 3名</li> <li>・教育や福祉を充実させるため 3名</li> <li>・税金等、福祉、消防が本筋になる 3名</li> </ul>	
<p>④ その他：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税金は、税金を払った分だけ戻ってくるから、税金を払う必要はない。</li> <li>・税金は、税金を払った分だけ戻ってくるから、税金を払う必要はない。</li> <li>・税金は、税金を払った分だけ戻ってくるから、税金を払う必要はない。</li> </ul>		<p>④ その他：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税金は、税金を払った分だけ戻ってくるから、税金を払う必要はない。</li> <li>・税金は、税金を払った分だけ戻ってくるから、税金を払う必要はない。</li> <li>・税金は、税金を払った分だけ戻ってくるから、税金を払う必要はない。</li> </ul>	

《 児童の感想 》

税金は、税金を払った分だけ戻ってくるから、税金を払う必要はない。税金は、税金を払った分だけ戻ってくるから、税金を払う必要はない。税金は、税金を払った分だけ戻ってくるから、税金を払う必要はない。

《 事前調査と事後調査の比較 》

【事前調査】 → 【事後調査】

8 研究の成果と課題

- 知識をより深めることができた。
- 専門的な知識を得た児童も多くいた。
- 税に関して興味を持たせることができた。
- 税金を身近に感じさせることができた。
- △時数確保が難しかった。

時数の確保をしっかりと見通せれば、有意義な学習になると感じた。